

2. 評価結果（詳細）

主任調査員氏名 石松成子／ 同行調査員氏名 浜田千里

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営方針には地域に根ざした共同生活住居として地域交流を計画的に取り入れ、入居者の自立を支援すると明記しているが、理念は開設時のままとなっている。	○	入居者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとしての理念を作り上げて行くことが求められる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開設時に職員で話し合い作った理念であり、理念を基に、毎年の介護目標を決め、ミーティングの時話し合って共有し、理念の実践に向けたケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入会し、散歩時の挨拶や奉仕作業にも積極的に参加している。保育園児や学童保育の子供たちとの交流も行っており、近所の人々が野菜を持ってきてくれるなど交流はできている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義やねらいについて職員に説明し、全職員で話し合い、評価に取り組み、サービスの質の向上に活かす努力をしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民代表、家族代表、医療関係の有識者、行政の職員等幅広い立場の人の参加を得て、事業所の取り組み内容や改善課題を話し合っている。多くの意見を集約し、地域の理解や協力を求め、サービスの向上に活かす取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月発行しているホーム便りを市の担当者に届け、事業所の実状や日頃の取り組みについて報告している。交流会での意見交換やネットワークも充実しており、連携が図られ協働してサービスの質向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に健康状態やホームでの様子など説明し、小使い帳は入金時に確認してもらっている。毎月ホーム便りを送付し、入居者の暮らしぶりや日頃の様子をわかりやすく報告している。病院受診時にはその都度病状等連絡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に説明文書に第三者委員を明記した相談・苦情窓口について説明している。年2回の家族会や行事等に参加を呼びかけ、意見を表せる機会を作っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	できる限り経験者の採用に努め、採用時には理念の説明や研修を行い、認知症についての理解を深めてもらっている。ベテラン職員と一緒に夜勤を経験するなど引継ぎを工夫し、入居者へのダメージを防止するよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の情報は全職員に伝え、希望があれば勤務を調整し参加している。研修報告書を作成し全職員にミーティングのとき報告している。定期的にホーム内での勉強会も実施し、資格取得にも勧めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会に加入し、研修等参加しており管理者・職員は地域の同業者と交流をする機会がある。他のホームのスタッフ研修を受け入れており、活動を通してサービスの質向上を目指している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があれば、入院先の病院に面談に伺ったり、本人・家族に見学してもらい、相談しながら体験入所をすすめ、納得して入居してもらえるよう努めている。入居後も外泊など支援し徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者を人生の先輩として、地域の慣わしや料理の味付け、梅干し・そば打ちなど教えてもらっている。職歴や生活歴など把握し、野菜づくりや子供たちとの交流等で役割をもってもらい、職員が学ぶ機会も多く、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時や家族の面会時に思いや意向を聞いている。日々の暮らしの中で、言葉や表情から本人の気持ちを汲み取るよう努め、本人の気持ちになって話し合うようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	面会時や毎日の暮らしの中で機会を捉え本人や家族の要望や意見を聞き、ミーティングや担当者会議で職員の意見やアイディアを出し合っ介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケア目標の実施状況を記録し、毎月評価を行っている。必要時はケア計画を見直している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診や美容院の利用などについて家族と相談し、必要時は支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を月1～2回支援している。予防接種や歯科検診をホームで受けられるよう主治医と連携をとり実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針についての文書を作成し、家族会や入居時に説明を行っている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者・職員はホーム内の勉強会などを実施し、入居者の尊厳や権利を守ることの重要性を認識しており、さりげない声かけや対応が出来ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なスケジュールはあるが、起床や食事時間・レクリエーションへの参加など一人ひとりの体調に配慮しながら入居者のペースにそって柔軟に対応している。		

グループホーム太陽の家

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望を聞いたり、自家栽培の野菜などを利用し献立を工夫している。買い物や、調理の下ごしらえ、味付け、盛り付けなど入居者・職員共に行い、食事介助をしながら、一緒に食事を楽しめる雰囲気がある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日を決めているが、ユニットで曜日をずらしており希望があればいつでも入浴できる。気分を変えて、3ヶ月に1回くらいの頻度で、温泉に出かけるなど入浴を楽しめる支援を工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ボランティアの協力で、日舞によるリハビリ踊りやピアノのけいこ等音楽療法を実践している。掃除や洗濯物たたみ等役割をもってもらったり、保育園児や学童保育の子供たちとの交流で張り合いや喜びのある日々が過ごせている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近隣の散歩や買い物に同行している。季節の花見やみかん狩りなど弁当も持って、ドライブを兼ねて出かけている。隣接する保育園児の遊ぶ様子を見たり、生き生きと過ごせるよう工夫している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が鍵を掛けることの弊害を理解し、鍵を掛けない自由な暮らしを支えている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間を通じて、計画的に救急救命や夜間を想定した避難・消防の訓練を、地域住民の参加や協力を得て実施している。		

グループホーム太陽の家

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量についてケース記録にてチェックを行なっている。入居者の好みを取り入れながら栄養バランスの取れた献立を工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	太陽の家と言うネーミングの通り、天窓から自然の光を取り入れている。薄い布で光の調整も行なっており、床材はクッション性のあるフローリング材を使用し、季節の飾りや花を生けてあり、居心地良く過ごせる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し、使い慣れた布団や鏡、家族の写真、孫の手作りの飾りや作品を飾って安心して過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。